

随想

〈第十二回〉

「防災の日」に寄せて

市長 米本 弥一郎



「天災は忘れた頃にやってくる」物理学者で随筆家の寺田寅彦の言葉といわれています。寺田は研究者として火災や地震などの災害に深い関心を持っていました。1923年の関東大震災発生時に上野にいた寺田は、自分のいる建物の安全を確認し「この珍しい強震の振動の経過を出来るだけくわしく観察しよう」と周辺を観察し、東京市内の焼け跡を回り、地震被害を調査しています。寺田はその後、防災に関する多くの随筆を残しています。1934年には代表的な随筆ともいわれる『天災と国防』を発表し、ここでは大火・水害や台風による被害を取り上げています。そして「文明が進むほど天災による損害の程度も累進する傾向がある」と指摘しました。随筆から90年がたち、文明は進みましたが、寺田が指摘したとおり、私たち

の社会は災害に対し、もろく弱くなっているのではないのでしょうか。また、昨今は忘れる間もないほどしきりに災害が発生しています。市では災害に備え、総合防災訓練や津波避難訓練を実施しています。ここ3年は新型コロナの影響で中止していましたが、今月10日には新庁舎で初めての、職員による防災訓練を実施します。今後は感染対策をしながら避難所を運営する訓練や、市民の皆さまが参加して訓練が再開できるような検討してまいります。市長就任後、何度も防災の研修を受けました。第一に学んだのは「危機管理は、市長が全責任を負う覚悟を持って陣頭指揮を執る」ことでした。災害協定を結んでいる組織や会社と連携・協力して市民の皆さまを守ってまいります。皆さまの備蓄や避難行動についてもお願いします。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後7時
土・日曜日、祝・休日…午前9時～午後5時
今月の休館日／5日(月)、12日(月)、20日(火)、26日(月)
関市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／ 3日(土) 午前10時30分～11時
17日(土) 午前10時30分～11時15分
場所／県立東部図書館 3階 研修室

今月のおすすめ



「修羅^{はし}夜

伊東潤 著 (徳間書店)

紗栄子^{はし}は、病に倒れたねぶた師の兄を手伝うため青森へ帰郷する。しかし、兄の病状は悪化し…。兄の思いを継ぎ日本一のねぶたを作るべく奔走する姿を描く。



「紅だ！」

桜庭一樹 著 (文藝春秋)

新大久保の探偵屋に勤める武闘派の真田紅は、15歳の少女に用心棒を依頼される。一方、相棒の頭脳派・黒川椽は偽札事件に関わるが、二つの事件は交錯し…。

新着図書

- | | | |
|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| ●47都道府県・博物館百科(可児光生) | ●ブータン、世界でいちばん幸せな女の子 (阿川佐和子) | ●セカンドチャンス (篠田節子) |
| ●実家じまい終わらせました！ (松本明子) | ●禁猟区 (石田衣良) | ●先祖探偵 (新川帆立) |
| ●16歳の仕事塾(堀部伸二・山岸慎司) | ●蹴れ、彦五郎 (今村翔吾) | ●掬えば手には (瀬尾まいこ) |
| ●「家トレ」のきほん (石田竜生) | ●晩秋行 (大沢在昌) | ●紙の梟 (貫井徳郎) |
| ●ほんとうの医療現場の話をしよう (高須賀とき) | ●わたしたち (落合恵子) | ●墜落 (真山仁) |
| ●パテない登山技術 (野中径隆) | ●爆発物処理班の遭遇したスピン (佐藤究) | ●星屑 (村山由佳) |
| ●マイ・プレゼント (青山美智子) | ●恋ふらむ鳥は (澤田瞳子) | ●#真相をお話しします(結城真一郎) |
| | | ●ファイナル・ツイスト (ジェフリー・ディーヴァー) |